



Title	平成27年度高大連携物理教育セミナー報告書 はじめに
Author(s)	杉山, 清寛; 関山, 明; 下田, 正
Citation	高大連携物理教育セミナー報告書. 2016, 27
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/54458
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

はじめに

大阪大学大学院基礎工学研究科 関山明

大阪大学大学院理学研究科 下田正

大阪大学全学教育推進機構 杉山清寛

高大連携物理教育セミナーは、高校と大学の先生方が年に1度集まって、理科教育の問題点や教育方法の改善、大学入試に関する課題、高校と大学の教育の接続の問題などを議論するとともに、最新の研究成果を紹介するために、大阪大学理学研究科と基礎工学研究科が協力して開催するものです。このセミナーのルーツは大阪大学基礎工学研究科による「理科と情報数理の教育セミナー」にあります。その後、高校と大学の教員のコミュニケーションの場としての重要性から、理学研究科がこれに加わり、物理分科会は大学教育実践センター主催で行われていた「高大連携物理セミナー」と合体して発展してきました。昨今、高校と大学が協力して解決すべき課題が山積しておりますので、本セミナーのように、高校と大学の先生方が集まって議論し研究することは、重要な意義があります。

本年度は、理工系における高大接続を具体化するSEEDSプログラムがJSTに採択されたことから発足記念と銘打ち「高大接続とAO入試」というテーマのもとで、本学研究者2名の方々による講義、昨年に引き続き基礎工学研究科研究室訪問、そして今後の教育のあり方に影響を与える高大接続とその出口となることが避けられない大学AO入試を議論する「高大連携企画」を開催しました。講義では素粒子、物性の2つの分野における最先端の研究をわかりやすく話していただきました。基礎工学研究科研究室訪問では基礎工学部電子物理科学科物性科学コース9研究室の協力のもと、高校の先生には約1時間半かけて2研究室を見学していただきました。高大連携企画では、大学所属の4名および高校所属の2名の方々に、高大接続と推薦/AO入試について現状と将来への展望・要望を語っていただいた後に、参加者全員で活発な議論を行いました。参加された多くの高等学校の先生方と、大学の関係者の方々に感謝するとともに、このセミナーが更に発展していくことが出来るように、今後とも努力していきたいと思います。

このセミナーの成功には、熱心な高校の先生方の参加に負うところが大きく、発表してくださった先生方は言うに及ばず、遠路参加していただいた先生方に感謝いたします。また、セミナー開催を支えていただいた両研究科の事務の方々にお礼を申し上げます。